

東大野球部 メールマガジン Vol.237

ごあいさつ

日増しに春めいてまいりました。新型コロナウイルスによってお亡くなりになった方々のご冥福をお祈りするとともに、罹患された皆様に心よりお見舞い申し上げます。1日でも早く流行が終息の方向に向かうことを願っております。

弊社では新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当面の間活動を停止しております。また春季リーグ戦は、5月下旬に開幕を延期し1試合総当り方式での開催に向け準備することとなりました。

今後とも東大野球部をどうぞよろしく願いいたします。

今後の日程

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当面の間活動を停止しております。

また春季リーグ戦は、5月下旬に開幕を延期し1試合総当り方式での開催に向け準備することとなりました。

今回の特集

「私のここに注目」

今回の特集は、「私のここに注目」です。選手たちに自分のアピールポイントを紹介してもらいました。

野村 優太 (4年・投手・仙台二)

みなさんには是の髪に注目していただきたいです。髪を切る際、私は原則坊主にするようにしていて、かつ坊主にそこまでのこだわりもないため、髪が伸びても基本的に放置し、伸びきれば前髪と脇の髪の

長さが同じという稀有な姿となります。今はその伸びている状態なのですが、次の坊主期がおそらくリーグ戦期間と被るため、みなさんにはもしかしたら珍しい髪型をダブルでお届けできるかもしれません。何はともあれ、無事リーグ戦が開催できることを祈るばかりです。



川出 拓実 (4年・内野手・刈谷)

愛用しているファーストミットに注目していただきたいです。大学入学と同時に使い始めたもので、はじめは鮮やかな黄色でしたが今ではかなり年季が入ってきました。これまでを振り返ると、チームメイトに貸していた時期もあり、ポジション変更で他のグラブに持ち替えた時期もありました。大変な状況ではありますが、今春のリーグ戦こそはこのミットと共に神宮で戦えることを祈るばかりです。



高橋 佑太郎 (3年・内野手・私立武蔵)

自分のアピールポイントは、継続力です。特に秀でていると言える能力はありませんが、自分の技術について考える力、そしてその向上のために継続して練習をするということに関してはチームでは一番であると自信を持って言えます。ただ、それが結果に結びつかないと意味がなく、結果に結びつかなければその過程が足りないということなので、それを続けてベンチ入り、そしてレギュラー奪取を果たします。



水越 健太 (3年・内野手・明和)

僕のアピールポイントはバッティングです。どんな形でも塁に出る、バットが折れようが間に落とす粘り強さが信条です。神宮では今までバットを5本

折られています(3本は同じピッチャーに折られました)がその内2本はヒットです。リーグ戦でも持ち前の粘りで、チームの勝利に貢献できるよう頑張ります。



岸野 亮 (2年・投手・湘南)

私の注目ポイントは底知れぬ体力です。ピッチャーで行うランメニューでは、敵なし。また、大学に入ってから、一度もまともな風邪をひいたことはありません。しかし、大学に入って一度だけ、風邪の予兆を感じたことがあります。その日は家で私特製のニンニクごろごろスープを作り、飲んで寝たところ治りました。このニンニクごろごろスープは本当に風邪によく効きます。風邪気味の方は連絡をくれればいつでも作りに行きますのでよろしくお願いします。金額は要相談です。



編集後記

今回の特集はいかがでしたでしょうか。

次回は「『野球』とは」と題して、部員に自分にとっての「野球」とは何かについて語ってもらいます。どうぞお楽しみに！

今後とも東大野球部をよろしく願います。

お問い合わせ先

〒113-0032

東京都文京区弥生 1-1-1 東大球場

Tel&Fax 03-3811-5100

メールアドレス office@tokyo-bbc.net

メルマガについてのご意見、配信停止のご希望等ございましたら上記連絡先までご連絡ください。